



市営高石団地の老朽化対策

◎ 築50年が過ぎた。一斉改修すべきでは。
 A 点検結果や入居者、自治会からの申し出などを踏まえ、現地を調査し、安全性や機能に支障があると判断したものは個別に対応していく。

緑地保全

◎ 維持保全活動で発生する廃材処理に対する市民活動団体からの要望への対応は。
 A 緑地内の状況により樹木の育成や安全な作業などに支障があり、市民活動団体から要望があった場合には、適宜、搬出処理を行っている。



自主防災組織

◎ 市に正式に登録している組織の状況は。
 A 日ごろから防災訓練や防災啓発活動、防災資器材の備蓄などに取り組んでいる。現在の組織数は720団体で、町内会・自治会を中心に組織している。



自主防災組織の活動

パブリックビューイング

◎ ギャルツブルク音楽祭のパブリックビューイングとミュージアム川崎の10周年記念コンサートが重なった理由は。
 A NHKから映像を借りることができる時期や出演者の予定を含めて調整した結果、同日の開催となってしまった。



登戸土地区画整理事業

◎ 交渉業務を民間活用にした成果は。
 A 建物調査の件数や補償交渉などの頻度が増えることで建物移転の合意形成の促進が図られるなど事業の進捗につながる効果が出ている。

高齢者施策

◎ 26年5月開設の認知症専門病院「かわさき記念病院」と連携を図るべきでは。
 A 同病院は近隣の地域包括支援センターとともに、地元町内会が実施する認知症カフェで相談支援を行うなど、地域ぐるみの取り組みに参加している。



平間配水所用地の活用

◎ 図書館分館などの市民利用施設、認可保育園、高齢者福祉施設などへの活用は。
 A 市内では貴重なまとまりのある土地なので、市の施策が有効に機能するよう公共公益施設の設置を優先に協議していく。

中原区の保育

◎ 中原区での27年4月の新設認可保育園数と増員数は。
 A 7施設、440人分の定員となっており、既存保育所の定員増や小規模保育などの地域型保育事業も含めると、合計で562人分の保育受入枠の拡充を予定している。



羽田空港発着枠の拡大

◎ 県・横浜・川崎・相模原四首長懇談会で国に対して提出した要望書について、庁内連絡会議での協議は。
 A 今後、庁内に設置した連絡会でも情報共有し、必要な調整を行っていききたい。



羽田空港発着枠の拡大

◎ 国が石油コンビナート等災害防止法上の飛行禁止区域を飛行する案を示したが、関係自治体間での協議や、国の回答を確認して地元説明会を開催すべきでは。
 A 国から飛行ルートの説明を受け、課題を持って県や国と協議していききたい。



川崎区内の家屋浸水対策

◎ 川崎区藤崎2丁目周辺は抜本的な浸水対策が必要だが、取り組みは。
 A 26年度から藤崎地区など未対策地域で浸水シミュレーションを行い、リスクの高い地区を抽出する作業を開始した。

フェイスブックの活用

◎ 市の施設ごとに立ち上げるのではなく、市としてフェイスブックを立ち上げて、総括的に情報発信しては。
 A 効果的な魅力発信のため、写真を複数掲載できるフェイスブックなどの活用も検討していききたい。



宮前区役所こども支援室が開設しているフェイスブックのページ



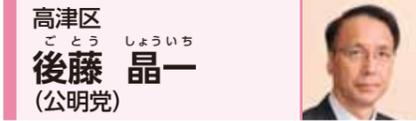
殿町3丁目特区計画

◎ (仮称)ものづくりナノ医療イノベーションセンターの事業収支を見直す理由は。
 A 安定的な事業運営には一定期間を要すると聞いており、(公財)市産業振興財団が運営開始に向けて中期的な収支計画の策定を行っているところである。



殿町3丁目特区計画

◎ (仮称)ものづくりナノ医療イノベーションセンター事業には、当初計画どおり税金を投入しないことを明言してほしい。
 A 今後提出予定の収支計画をしっかりと精査検証していききたい。



防災対策

◎ 台風18号では集中豪雨で橋小学校の通学路に落石が発生した。防災対策の体制を整えるべきでは。
 A 学校での児童生徒の安全確保を図るため、市の関係部署で連携した体制づくりを検討していききたい。

特定公共賃貸住宅の空き家対策

◎ 急速に進む少子高齢化施策として早期に実施すべきでは。
 A 高齢化への対応や若年子育て世帯の支援などのため、スピード感を持って効果的な活用を図る。



高齢者施策

◎ 医学的知識が必要な患者受け入れのため、介護職員の研修で実習を広げては。
 A 介護職員によるたんの吸引や経管栄養の処置を可能とするための研修をはじめ、医学的側面からの感染症に関する正しい知識とケアの普及啓発に努めている。

京急川崎駅周辺の整備計画

◎ ホテル誘致など京急川崎駅周辺の整備計画が必要だが、見解は。
 A ホテルを含めた土地利用など京急川崎駅周辺地区まちづくり整備方針の策定に向けた取り組みを進めている。



本庁舎建替えと民間ビルの賃貸借

◎ 民間ビルに入居する本庁機能について、本庁舎建替え後はどうするのか。
 A 新庁舎の完成後も民間ビルの契約期間が残ることが想定されることから最適な方法を検討し、27年度中に示したい。

待機児童対策

◎ 最も需要の高い2歳児以下の保育施設の整備として、認可保育所の募集条件に小規模保育を連携機関で設置できないか。
 A 小規模保育事業も継続した保育の実施に向け、連携施設の確保を考慮した運営事業者の募集方法などを検討したい。



臨海部への鉄道アクセス

◎ 初期投資の軽減や費用対効果も考慮し、LRT(★9)なども視野に、鉄道ネットワークの構築を議論すべきでは。
 A 鉄道交通などの最新動向も踏まえ、交通体系の将来像を広く検討していききたい。

アレルギー性疾患対策

◎ 今後の対策を前進させるため、担当部署の一本化や条例名の変更が必要では。
 A 成人ぜん息患者医療費助成事業の経過や他の疾患の医療費助成とのバランスや公平性を考慮しながら、制度のあり方を検討していききたい。

用語の解説

P6

★5 院内学級
 長期入院している児童生徒が治療を受けながら学習できるように病院内に設けられる学級のことです。

★6 かわさき☆かがやきプラン
 第3期市男女平等推進行動計画のことで、男女が平等で共に参画できる社会をつくるための市の基本的な目標と施策の方向を示し、具体的に実施する事業を体系づけたものです。

★7 ESCO事業
 P2 (★1)ESCO事業を参照

★8 用途地域
 都市計画法により、都市の環境保全や利便の増進のために、地域における建物の用途に一定の制限を行う地域のことで、大きく住居系、商業系、工業系に類別されます。

P7

★9 LRT
 Light Rail Transit (ライト・レール・トランジット) の略で、低床車両、低騒音・高速化などを実現し、利便性を高めた次世代の軌道系交通システムのことです。

議長・副議長の主な出席行事 (26年10月~12月)

- 26年10月
 - 11日(土) 第41回川崎みなと祭り開会式
 - 19日(日) 第37回川崎市ろう者のつどい
 - 28日(火) 第52回川崎市社会福祉大会
 - 30日(木) 向ヶ丘遊園駅連絡通路開通式典
- 26年11月
 - 1日(土) 第37回かわさき市民祭り開会式
 - 7日(金) 第33回川崎市保育会保育大会
 - 10日(月) 第43回川崎市文化賞等贈呈式
 - 12日(水) 第64回川崎市更正保護大会
 - 16日(日) 川崎市制90周年記念
2014川崎国際多摩川マラソン
- 26年12月
 - 6日(土) 障害者週間記念「第34回川崎市民のつどい」
 - 22日(月) 川崎市児童家庭支援・児童虐待防止フォーラム2014

このほか、各種行事に出席しています。

27年1月3日にテレビ神奈川で議長・副議長の「新春対談」が放映されました。
 浅野文直議長(中央)、飯塚正良副議長(右)

お知らせ
 2月13日から27年第1回定例会が開かれています。この定例会では、主に27年度予算案などを審議します。会期日程などの詳細は市議会ホームページをご覧ください。